

3月

みんなくウィークエンド・サロン

研究者と話そう

■ 14時30分から15時30分

■ 展示観覧料が必要です。3月16日のみ無料。

※都合により、予定を変更することがあります。

国立民族学博物館（みんなく）の研究者が来館された皆様の前に登場します！「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。どんでん質問をおよせください。展示場でお待ちしております。

2日
(11日)

話者：呉屋淳子（国立民族学博物館 機関研究員）
話題：韓国ソウルの「お稽古」事情を探る！
会場：本館展示場（ナビひろば）

9日
(18日)

話者：河合洋尚（国立民族学博物館 助教）
話題：中国の風水と開発
会場：本館展示場（ナビひろば）

16日
(25日)

話者：丸川雄三（国立民族学博物館 准教授）
話題：連想がつなぐミュージアムの情報発信
会場：本館展示場（ナビひろば）

23日
(31日)

話者：田村克己（国立民族学博物館 教授）
話題：民博25年、ミャンマー35年、そしてタイガース55年
会場：本館展示場（ナビひろば）

30日
(7日)

話者：寺田吉孝（国立民族学博物館 教授）
話題：映像メディアを用いた研究と博物館活動
会場：本館展示場（東南アジア横休憩所）

1年間みんなくに何度でも入館できる「みんなくフリーパス(3,000円)」をご利用ください。

本館展示は何度でも無料で入館できます。他にも、みんなくを楽しむための特典がいっぱいあります。

特典◆本館展示の無料入館◆特別展示の観覧料割引

◆みんなくミュージアム・ショップとレストランの10%割引

◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引 など。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893/平日9:00～17:00)

編集後記

私は「アクションもの」の夢を時々見る。「奴隷商人に追われてた……」というような話を起きしなに連れ合いにすると、「映画の見すぎだ」と言われる。ツレはスーパーでショッピングカートを押していたり、会議に出ていたりという日常生活の延長線上のような平穏な夢が多いらしい。夢の見方というのは性格に由来するものなのだろうか。私は会議や買い物の夢など見た覚えがない。

編集会議でも、どんな夢をよく見るか、いまだに忘れない夢は何か、という夢談義で盛り上がった。予知夢を見た不思議な経験を持つという人、夢日記を続けているという人がいる中で、「物心ついてから夢というものをいっさい見たことがない」、と言い切る同僚もいた。夢をまったく見ないという人が本当にいるのか、あるいは目覚めが良すぎて夢を記憶していないだけか。きっと本号に登場した神谷氏の夢解読マシンにかかったら解明されるのであろう。

寝ている人の脳の中を覗き見ることができる機械を手に入れたら……。そういえばそんなSFアクション映画もあったような。(山中由里子)

●表紙：紙人形「アレプリハ」 標本番号 H0131687

地域：メキシコ 民族：メステノ

制作者のペドロ・リナレスが、死地をさまよう重病にかかったときにみた悪夢を表現したもの

次号の予告

特集

穴だけじゃない考古学

月刊みんなく 2014年3月号

第38巻第3号通巻第438号 2014年3月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1

電話 06-6876-2151

発行人 八杉佳穂

編集委員 山中由里子（編集長） 櫻永真佐夫 久保正敏

庄司博史 菅瀬晶子 丹羽典生 野林厚志

編集アドバイザー 山内直樹

デザイン 宮谷一欒

制作・協力 一般財団法人 千里文化財団

印刷 日本写真印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。

●阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分。

●乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。

●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

○ みんなくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんなくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんなくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>

